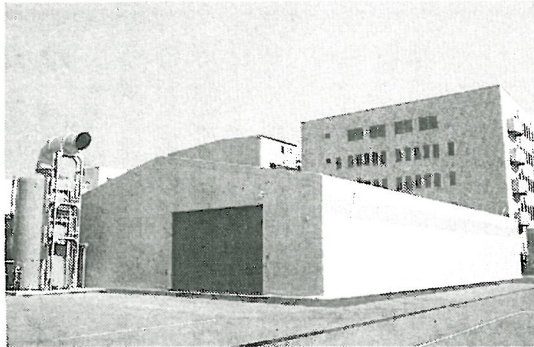


2008年(平成20年)10月15日(水曜日)

大栄サービス

新設の廃棄飲料RMC

5カ月間で1200t処理



3月に新設したRMC

大栄サービスはこのほど、兵庫県西宮市で稼働中の廃棄飲料専用管理・保管施設「リバース・マネジメントセンター(RMC)」での3月から8月までの5カ月間の廃棄飲料処理量が累計で1200tに達したと発表

した。20PETボトルに換算すると約60万本、缶コーヒエ換算だと約630万本に相当する。RMCは今年3月に新設された。回収した廃棄飲料を、梱包資材の段ボール

類と飲料商品とに手選別後、破碎処理施設で中身の液体と缶、PETボトルなどの容器に分離する。その

後、破碎した容器はリサイクルし、液体は乾燥施設で「バイオソリッド燃料」に加工する。

同社は総合リサイクル事業を展開しており、産業廃棄物の中間処理だけではなく、収集運搬も行う。「運搬・保管・処理業務」をトータルで提供できることを強みとして、飲料業界などでの返品・回収作業の効率化に貢献する。

さらに、回収した廃棄飲料の保管スペースは195㎡あり、20PETボトルだと約30万本、缶コーヒ

ーだと約300万本保管できる。このため飲料メーカーなどの大量回収に対応できるとともに、倉庫の回転率向上にも貢献する。

施設には周辺への環境対策として脱臭装置を備えると同時に、回収した廃棄飲料が流出しないように24時間のセキュリティ対策も講じてある。

(木下猛統)